令和8年度　全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市全体～小学校・義務教育学校前期課程）

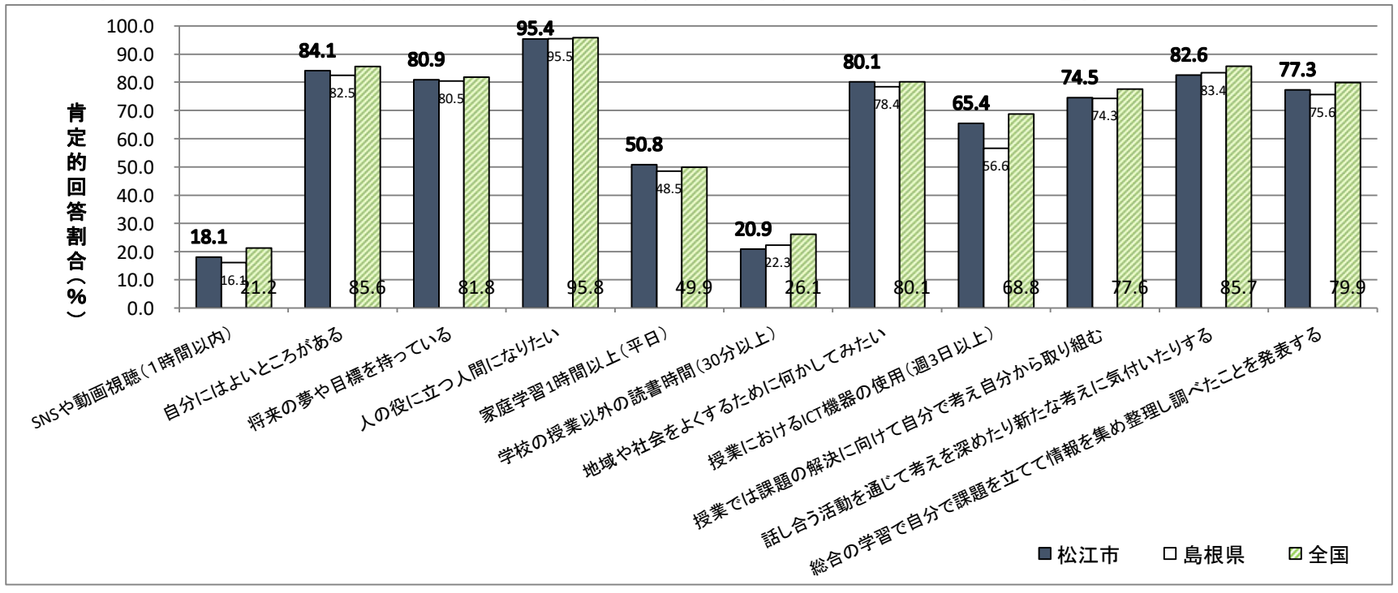
（1）学力調査結果から見られた傾向

		分析（成果○、課題●）	改善策（・）
国語	成果	○話すこと・聞くことにおいて、相手に伝わるように話の中心を明確にして構成を考えること。 ○書くことにおいて、筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考えること。	・読む目的（知りたいことを調べるため、自分の表現に生かすためなど）を明確にして必要な情報を見つけ、その情報を活用する活動を取り入れるようにする。 ・図示することによって語句と語句との関係（考えと理由や事例、全体と中心、原因と結果など）を整理する活動を取り入れ、図示することによって考えをより明確にしたり、思考をまとめたりすることができることを理解させる。 ・説得力の程度や著作権の観点から、引用されている文章と引用されていない文章を読み比べる活動を取り入れ、引用する意義について考えさせる。
	課題	●読むことにおいて、目的に応じて必要な情報を見つけること。 ●情報と情報との関係付けの仕方や表し方を理解し使うこと。 ●書くことにおいて、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	
算数	成果	○小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みでできていることを理解すること。 ○立方体の体積の計算による求め方を式に表すこと。	・図形の系統性を捉え、平面図形や立体図形において図形を構成する要素（辺・面・角）に着目する授業を行う。 ・倍や割合など2つの数量の関係を捉えられるよう、図等を用いて問題解決の見通しをもてるようにする。 ・問題を解いて終わりではなく、式や答えが何を表すのかを考察する活動を取り入れる。
	課題	●辺や面など図形を構成する要素に着目し、立体図形について考察すること。 ●単位量当たりの大きさや倍など2つの数量の関係について考え、式の表す意味や問題の意味に合う図を選ぶこと。	

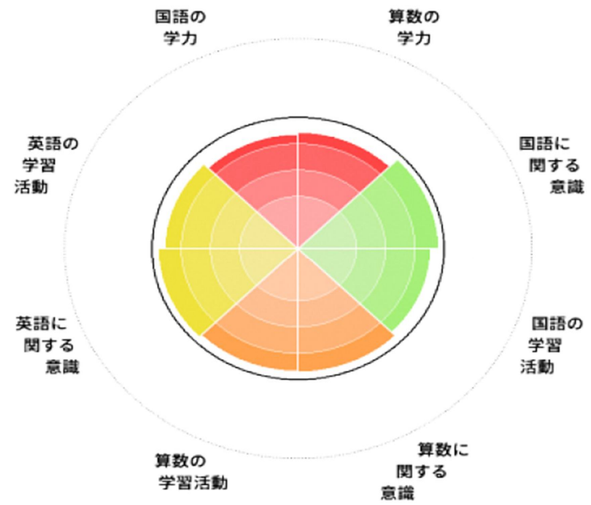
（2）質問紙調査から見られた傾向

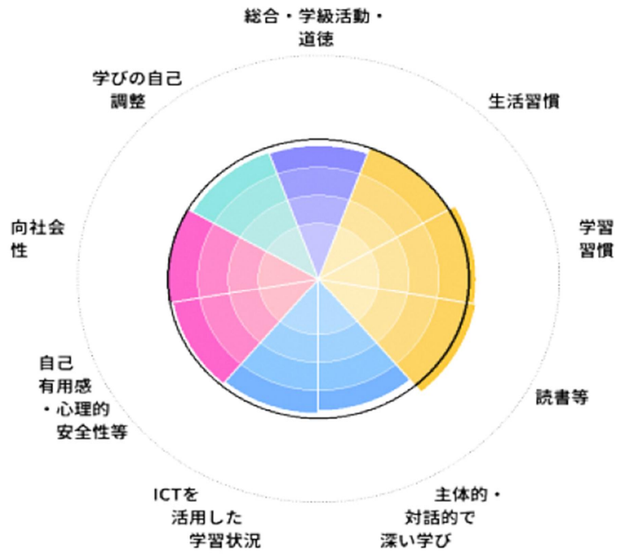
		分析（成果○、課題●）	改善策（・）
質問紙	成果	○毎日の朝食・同じくらいの時刻に起床、就寝など基本的な生活リズムが整っている児童が多い。 ○自分にはよいところがあると思う児童や、人の役に立つ人間になりたい、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童が多い。	・SNS視聴時間については家庭・学校・地域・行政が連携し、システムによる適切な利用サポート、家庭でのルール作り、代替手段の提供など多角的なアプローチを行っていく。 ・学校図書館の活用促進を継続し、家庭とも連携しながら読書とデジタルのメリハリ、本との出会いの場の工夫などに取り組み、本に親しむ機会を増やしていく。 ・国語や算数の実用性を意識させ、学んだ知識を次の学習や日常生活に活かせるよう、児童の主体性を引き出す授業改善を行う。
	課題	●月～金のSNSや動画視聴が1時間以内の児童が2割弱であり、全国に比べて低い。 ●学校図書館の利用割合は全国に対して高いものの、学校の授業以外の読書時間が30分以上の児童は全体の2割にとどまり全国よりも低い。 ●国語、算数の勉強が「好き」「得意」という肯定的回答の割合が全国に比べて低い。	

（4）質問紙調査の結果より（学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています。）



（3）学力・学習状況調査結果チャート（実線は全国平均）





【参考】[国語・算数・理科]平均正答率（%）

	松江市	島根県	全国（公立）
国語	56	56	60.9
算数	52	52	56.4

【受検者数】　1,608　名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。